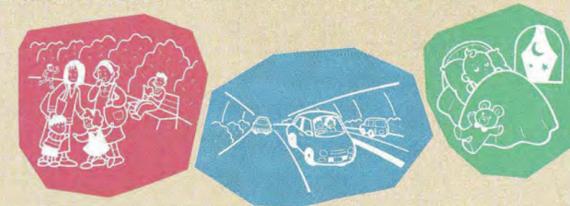


より良い生活環境を めざして、道路の 技術を総合的に開発。

「道路環境技術開発三箇年計画」の策定にあたって



農産物の販路が全国規模に拡大したり、宅配便が普及したり。経済、社会、生活をとりまく状況の変化にともない、自動車による物流量は年々増加してきました。生活を便利にするためのそうした変化は、一方で騒音や排気ガスなど、生活に影響を与える環境問題を深刻化させる一因にもなっています。そこで、これらの問題を総合的に解決してゆくための方法として、「より良い生活環境への挑戦」を基本理念に、「道路環境技術開発三箇年計画」を策定することとなりました。

読者の声

第8号にお寄せいただいた
みなさんのご意見。
その一部をここで紹介します。

シ ロックサの花かんむりや、オオバコのすもも、レンゲツウの風車……。でもしんぶんの「春の草花あそび」を読んで、道ばたで遊んでいた幼いころの思い出が次々とよみがえりました。道づくりは、ただ道路を建設するのではなく、その周りにある生き物——草花から虫、小動物、樹木にいたるまでを大切に、共生を促すためにどうしたらいいかを考えていくこともあるんです。計画中の「緑立つ道」は、名前のとおり緑いばいの道になるとのこと。私たち人間のためだけでなく、草花や小動物にとってもやさしい道づくりをめざしていただきたいと思えます。【寝屋川市 さん】

何 げなく歩いている道にも歴史があるんだと、第8号の特集「道の交わるころ」を読んで思いました。一本の道で人が出会い、そして文化が開けていくなんて……！ 壮大な歴史とロマンを感じます。【寝屋川市 K・Rさん】

枚 方に来て1年半ほどたちます。さすがに、古都・京都、奈良に近いだけあって、地図を見れば、この道は京都に通じる旧道だとか、奈良への道はここから……などと、楽しんでます。今回の特集は、そんな興味に添えてくれるような記事で、楽しく読みました。【枚方市 さん】

第8号 の子どもしんぶんを手にとり、思わずほほえんでいる自分に気づきました。瀬戸内の離島で過ごした子供時代、草花あそびをなつかしく思います。そういえば、小学校四年生で大阪に来て最初に驚いたのは、タンポポが黄色だったこと。島のタンポポは真っ白だったので。夕ボボの季節になると、誰彼かまわず白いタンポポの話をしなくなります。【寝屋川市 さん】

電 車で通勤していますが、最近、帰りは最寄り駅より1駅か2駅前後の駅で降りて歩いて歩いています。同じ市内でも知らない道があつて、新鮮な気持ちになります。便利な道が増えてきたこともあって快適です……。これからも住み良いまちづくりのためにご尽力ください。【門真市 さん】

特 集を読んで、小旅行気分で大谷へ行きたくなりました。朝市で新鮮な野菜を母に、地酒を父におみやげとして持って帰るのかな？ 【交野市 さん】

各市の催し

- 第10回なわて落語会**
7月5日(金) 18時30分
(四條畷市市民総合センター) ほか、有料。
お問い合わせ 四條畷市市民総合センター
TEL. 0720(79)3939
- 第24回ふる里門真まつり**
7月28日(日) 11時18時(なまはやドーム)
ドーム見学、プール開放ほかイベント多数。
お問い合わせ
ふる里門真まつり実行委員会
TEL. 06(902)1231
- 第13回交野まつり**
8月3日(土) 4日(日) (私部公園グラウン
ドなど) 星のまち交野にちなんだ七夕イベント多数。無料。
- 第21回枚方まつり**
8月24日(土) 25日(日) (枚方市役所周辺
およびくずは駅河川敷パレード、模擬店ほか。
25日はくらわんか花火大会。
お問い合わせ
枚方まつり実行委員会事務局
TEL. 0720(45)2911
- 第19回寝屋川まつり**
8月24日(土) 25日(日) 18時
(寝屋川市立第一中学校)
お問い合わせ 寝屋川市役所自治振興課
TEL. 0720(24)1181

わたしの好き道 を募集します

応募の際には、住所氏名、年齢、電話番号と、「道」のある場所、紹介したい理由をお書きのうえ、道の写真(2ナツツ写真で構いません)を添えて、左の宛て先へ「わたしの好きな道係まで」お送りください。
※写真は返却いたしませんので、ご了承ください。

住所 〒
氏名
年齢
「道」のある場所
紹介したい理由

ご意見、ご質問をお待ちしています。

記事への感想・ご意見はもちろん、現在計画中の「緑立つ道」に関するご意見やご要望・ご質問など、いろんなお便りをお寄せください。住所・氏名・年齢・電話番号をお書きの上、左の宛て先までお送りください。また、ご希望の方には北河内の「道の歴史の小冊子」道をたんで2千年をさしあげます。

〒 建設省 近畿地方建設局 浪速国道工事事務所
「緑立つ道」編集局
〒573 枚方市南中振3丁目2番3号
TEL. 0720(33)0261

テレホンカード、さしあげます。
お便りをいただいた方の中から、抽選で50名様にお礼状を送ります。

緑立つ道

Vol.9
1996年6月発行

発行
建設省近畿地方建設局浪速国道工事事務所
日本道路公園大阪建設局枚方工事事務所



「緑立つ道」は、大阪と京都を結ぶ新しい幹線道路「第二京阪道路」と「一般国道1号バイパス」の愛称です。

特集「道」と「緑」 その共生する可能性



今号のレポーター

読者が選ぶ 北河内の風景
大阪市立大学理学部附属植物園 (推薦 ● 枚方市 さん)
わが家は一家そろってキャンプが好きなので、あちこちよくかけるのですが、枚方市にある私の家からは、ほんの少し足をのびただけで、魅力的なまばゆい緑のスポットに出会えます。今は、何もせずに時間を楽しむのが、いちばんの贅沢という気がしますが、私市にある大阪市立大学の植物園は、自然の中でんびり過ごせる場所。公園のように人工的になりすぎず、広い敷地にたくさんの植物がのびのび生えていて、すてきですよ。

大阪市立大学理学部附属植物園 (京阪交野線 私市駅より徒歩約6分)
住所 交野市私市2000 / 電話 0720(91)2059 / 入園料 大人350円
中学生以下は無料 / 開園時間 午前9:30～午後4:30 / 休園日 毎週月曜日

「道」と「緑」が

共生するために「できる」。

人がつくる「道」と、自然が生み出す「緑」。そこには、どんな関係があるのでしょうか。人がこれまで、どのように「道」に「緑」を取り入れてきたのか、その考え方の変遷をたどりながら、「道」と「緑」の関係を考えます。

「緑なら何でも」から、「機能する緑」へ。

「道路に緑を取り入れる」というと、街路樹とか中央分離帯の緑とかを思い浮かべますが、きれいだと思うものもあるし、そうでないものもあるし。緑の取り入れ方も、これまでにいろいろな段階があったんです。初期の段階では、現在のように、自然の持つ意味や効果をうまく考えて、人工的につくったもの、つまりは「緑」が、道路の両側に木を植えた。ある意味で「緑なら何でも」という段階です。たしかに、緑はあつた方がいいと思いますが、どんな緑がいいのか、と言われると難しいです。

「だから最初は、身のまわりにある庭木や園芸用の植物を植えたんです。自動車の排気ガスに強いとか、水をあまりやらずに育つとか、そういう部分も重要だったと思います。」

「どういう木が選ばれたんですか。プラタナスとか、イチヨウなどが多かったんです。この段階の考え方が表れている例として、キョウチクトウがあります。ある市では、市木に指定されていたこともありましたが、キョウチクトウが植えられるのは、「公害の影響を」



自然の緑の力を取り入れるか。これからの課題でもあります。

受けにくい性質だから」という側面が大きくて、「キョウチクトウが美しいから」とか、「歴史や風土に合っているから」というわけではなかった。そもそも、あれは乾燥地帯の木ですから。キョウチクトウって、あまり季節感を感じられない花ですね。緑なら何でもいい段階では、そういう季節感とか美しいというのはいま重要な基準ではなかったんです。いわゆる景観・美観の面が重要視されるのは、その次の段階です。見た目がきれいなほうがいい、とか、花が咲く方がいいとか。

「私は、街路樹ではハナミズキがきれいなあとだと思いますが、サクラが咲いたら、次はハナミズキだ、と楽しみに、季節を感じさせてくれますね。そう、いったい「美しさ」などが、植栽を選ぶ観点に入ってきたわけです。そして、次の段階で生まれ



てくるのが、「郷土の種に対する視点です。外国の植物より、日本の、それも地元植物を植えるよ、というわけです。」

「その場所の風土に合うもの、という考えですね。景観や街なみに合うかどうかを考えると、ということですね。たとえば、神戸の異人館があるような場所に植える緑と、武家屋敷の町並みに植える緑と、合うものは自ずと違ってくる。まわりの景観も含めて植栽を考えると、ということになるんです。」

「街ぐるみで緑を考えをわけですね。そう、です。そして、さらに次の段階（それが現在ですが）では、植物だけではなく、動物のことも考えながら、ひとつの環境としての緑を考えようとしているんです。」

植物を植えるということは、そこで生活している虫や鳥や、その他いろいろな動物にも影響を与えます。単に美しいというだけではなく、生物が生息しやすいかどうか、ということも考えて緑をつくっていくかなければならない、という方向に進んできたわけです。



自然の緑の力を借りて、道の両側で、緑が機能しはじめる。

たとえば、公園などでも、芝生を非常に短く刈り込んでしまっている光景をよく見ますが、その草むらに住みかかっている昆虫などのことを考えると、果たしてそうすべきかどうかという問題はあります。私たちは、どうも刈り込まれて手入れをされている芝生のよさなものを、美しい（よい）と思ってしまうのではないかと、思います（これは、ひとつは教育の問題でもあると思うんですが）。芝生でも、年に2回くらいしか手入れをしないままにすれば、葉も伸びるし、雑草も生える。いわゆる、「草ぼうぼう」という感じになる。人間から見ると、手入れが悪いというところになるのかもしれない。今、原っぱ自体がなくなっていて、子供たちもそういうことを知らない。私から見ると、かわいそうだなと思いますね。

「原っぱ」というのは、まさに、その「草ぼうぼう」の状態ですね。多種多様な草が生えていて、小さな生き物が暮らしやすい環境なんです。生態系としても安定しています。すし。そういう群落を道路の法面（道路の両側にある傾斜面）などに育ててやれば、その中で自然のサイクルがうまくまわって、非常に自然に近い野草の草原が生まれる可能性があるんです。緑も、「人間にとってどうか」ということを考えてはいけません、ということでしょうか。

「自然のサイクルがうまくまわって、非常に自然に近い野草の草原が生まれる可能性があるんです。緑も、「人間にとってどうか」ということを考えてはいけません、ということでしょうか。新緑がきれいだと



「花が咲くのが楽しめた」とか、これは人間の側の思いなんです。でも、人間と自然との関係は、それだけではないと思います。本当に自然がなくなってしまうから人間は生きていけないのか、ということも考えなくては行けない。そして、そもそも「人間に必要な」自然だけを残すということが、本当に可能なかどうか。必要かどうかの判断をどうやってやるのか、ということも必要です。必要なものも、（雑草のように）一見、必要に見えないものも、自然の中ではそれぞれに役割があるんです。

「道の緑が、森や林をつなぐ「緑の回廊」に。」

「ふつうの街の中の緑でも、そういう考え方ができるんですか。」

「そうですね。自然の林や森は、必要ありませんから。ただ、たとえば道路の両側にせまく木を植えるのであれば、周囲の環境に「けいこみ、なおか自然」として機能するような作り方をした方がいいということ。きちんと考えつつ、やると、人工的につくった緑でも、やがてひとつの自然として機能するようになるんです。」



「単に木が生えているだけではなくて、そこにいろいろな生き物が暮らしているんです。たとえ小さな規模でも、その場所独自の貴重な生態系を持っている。道路とか公園とかの「緑」の方にも、（さきほどの「草ぼうぼう」の例のように）そういう自然のあり方を取り入れることを考えていくべきです。」

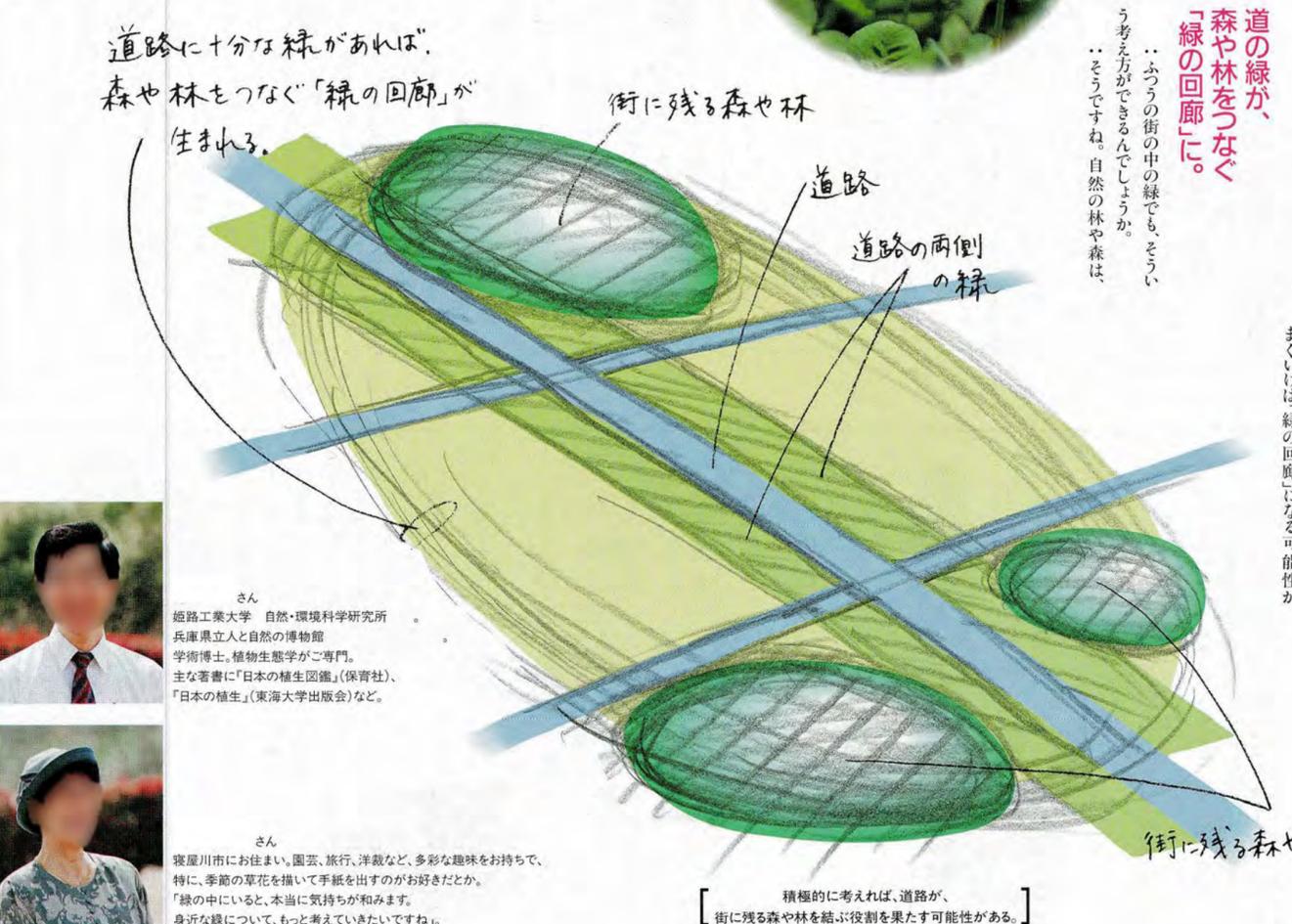
「そして、もう少し積極的に考えれば、道路が、そうした林や森を結ぶ役割を持つ可能性もあるんです。いわゆる「ニータウン」のように、大きな規模で開発が進むと、その地域の間を線状にびびるわけですから、道路の両側に十分な緑をつくることで、孤立化した林や森を結ぶ「緑の回廊」になる可能性があると思うんです。」

「「緑立」道でも、かなりひろい幅の植樹帯を設けようとしていますから、（どういうものを植えるかにもよりますが）うまくいけば「緑の回廊」になる可能性がある。」



「でも、木が成長していくのには何十年も時間がかかりますよね。」

「そうですね。人工的な建造物というのは、つくった時が「完成」だけれど、植物というのは逆なんです。植える時は



さん
姫路工業大学 自然・環境科学研究所
兵庫県立人と自然の博物館
学術博士。植物生態学が専門。
主な著書に「日本の植生図鑑」(保育社)、
「日本の植生」(東海大学出版会)など。



さん
寝屋川市にお住まい。園芸、旅行、洋裁など、多彩な趣味をお持ちで、
特に、季節の草花を描いて手紙を出すのがお好きだとか。
「緑の中」に、本当に気持ちいい。身近な緑について、もっと考えていきたいですね。」

積極的に考えれば、道路が、街に残る森や林を結ぶ役割を果たす可能性がある。

シリーズ道くせしめーよ

クスノキ

6〜10センチの葉は、つやつやした緑色をしてるよ。よくしげるので防音の効果もあるんだ。



トウカエテ

葉の大きさは10〜15センチで、先のほうに30センチの切れ込みがあるのがとくちよ。秋には葉が赤くなつて、みんなの目を楽しませられるよ。

街路樹大しゅーぶー

「街路樹」は、道の両側に植えられた木のことなんだ。

道によつて、いろんな木があるよ。

君の家の近くにはどんな街路樹があるかな？

葉の形や木の姿をかんさつしてみよう！



ソメイヨシノ

サクラの仲間で、春にはたくさんの方が花を見て楽しむよ。葉の大きさは約8センチ。た円形で、ふちにはのこぎりの歯のようなギザギザがあるんだ。



シダレヤナギ

細長い葉は約5〜12センチ。えだが糸のようにたれているのがとくちよなんだ。川の土手や橋の近くなど、水辺でよく見られるよ。

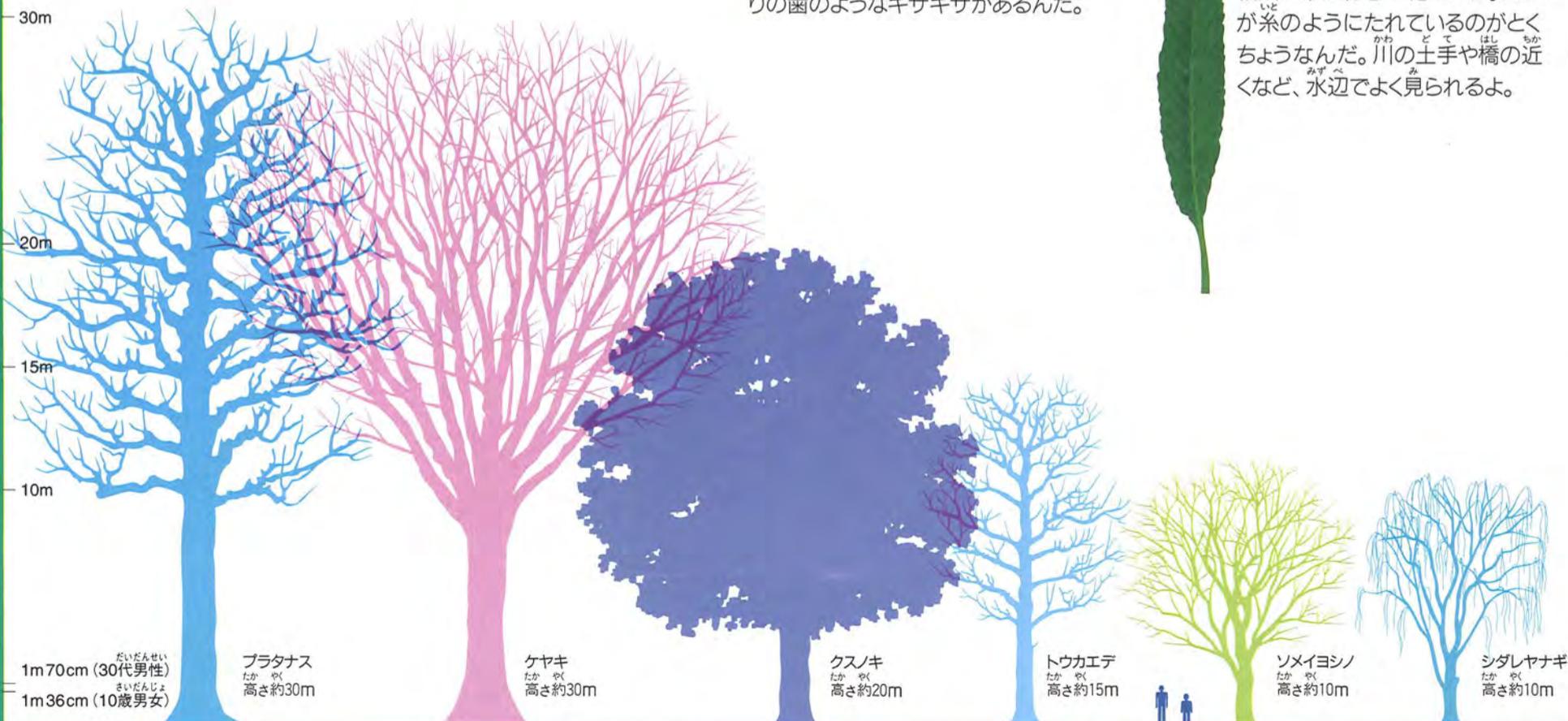


プラタナス
(スズカケノキ)

5月に花が咲いたあと、すずのような実がなるよ(スズカケの名前はそこからつけられたんだ)。最大20センチにもなる葉は、天狗のうちわのよう。街路樹としてとても人気がある木なんだ。

ケヤキ

竹ぼうきを逆にしたような形の木だから、遠くからでも見わけがつくよ。大きさは3〜7センチの葉は、表がざらざらしているんだ。



街路樹の はたらきを 考えてみよう！

道の両側にならぶ街路樹。日本では、千年以上も昔からあったんだって。いろいろな木がどんなはたらきをしているのかが、

道路やほどう、
そのまわりの街を、
快適にしているよ。

暑い夏に、街路樹の陰にはいると、ひんやり、すずしい感じがするね。それは、木の葉が少しずつ水分を蒸発させて、まわりの気温を下げているからなんだ。太陽の光をさえぎっているだけじゃないんだね。ほかに、自動車の排気ガスを分散させたり、道路の騒音をまわりの家につたえにくしたり、街路樹は快適なくらしにとっても役立っているんだよ。

昔、街路樹は 旅人の非常食だった？！

奈良時代には、道ゆく旅人の食りようにもなるように、「実のなる木」が街路樹に植えられたんだって。何の木が植えられたのかは記録に残ってないけれど、たちばな(みかん)や、もも、クルミなどの木だったといわれているよ。



街に、自然の 空間を生み 出しているんだ。

ひろげた枝できゆうけいしたり、花や実をえさにしたり、時には、そこで巣をつくったり…。街に住む鳥や虫など、いろいろな生き物たちにとって、街路樹はとても大切な生活の場所なんだ。山や森から離れた街でも、街路樹は、生き物がくらせる自然の空間を生み出しているんだよ。

季節を教えてくれたり、 街を美しくするのも、 街路樹の大切なはたらきだよ。

春にかわいい若葉が顔を出したり、花が咲いたり紅葉したり…。街路樹は、見る人に季節を教えてくれるね。また、緑の葉っぱやこんもりとしげった姿は、道路や街を美しくしてくれる。中には、御堂筋のイチヨウのように、街のシンボルになるものもあるよ。美しい街路樹があると、その街でくらす人も、道を通る人も、気持ちがいいね。



「道の日」サマーフェスタ
今年8月10日は「道の日」。
イベントを開きよう！



「道の日」のキャラクター「ちたヨウ平」くんといっしょに、歌をうたったり、「道のクイズ」に挑戦したり…。楽しみながら「道」について考えよう！
日時／1996年8月9日(金) 13:00～15:00
会場／京阪くずは駅前モール街(汽車の広場・噴水広場)
主催／●建設省 近畿地方建設局 浪速国道工事事務所 ●日本道路公団 大阪建設局 枚方工事事務所



道の日のキャラクター「ちたヨウ平」くん。